

御所市内公共交通実証運行の概要

1. 背景と実証運行計画策定の目的

御所市における公共交通は、近鉄御所線・吉野線とJR和歌山線の鉄道、近鉄御所駅発着の近隣都市に向けての奈良交通の路線バスが運行されている。また、交通不便地域の日常生活を支える移動手段としてコミュニティバス「ひまわり号」が御所市全域を東西の2コースに分けて、老人福祉センターや市役所等の公共施設、近鉄御所駅等の鉄道駅、かもきみの湯、商業施設を巡回するように運行されている。

しかしながら、人口減少や利用ニーズが変化していることもあり、コミュニティバスの利用者が年々減少しており、本市の財政状況が厳しい中で、利用状況に応じた、持続可能な公共交通のあり方を検討することが求められている。一方で、京奈和自動車道 御所インターチェンジ周辺に奈良県と本市が協働して産業集積地を開設する予定であり、産業集積地への交通手段の確保や近鉄御所駅・JR御所駅から御所まちに至る中心市街地地区内の観光誘客による交流人口の拡大を図ることを目的にまちづくり基本計画策定の動きもある。

このような状況のなか、平成30年度に策定した「御所市内公共交通運行効率化計画」の中で、市北部は、輸送密度が高いコミュニティバスを運行し、移動時間の短縮や運行本数の増加に対応した利便性の高いものに再編することとした。また、市南部は、少ない需要に応じた輸送密度がコンパクトで利便性の高い停留所方式の運行形態となるデマンド交通を導入することとした。

については、市北部と市南部それぞれのエリアにおいて、令和4年度からコミュニティバスとデマンド交通の実証運行を実施していくために、実証運行計画を作成する。また、実証運行に向けた準備として、運輸局等との手続き、広報の実施、住民説明会等を実施する。

2. 実証運行に向けた検討事項

令和4年度の実証運行に向けた作業は、以下とする。

- ・実証運行計画の検討
- ・運輸局手続き
- ・広報の実施
- ・住民説明会 等

3. 交通会議の開催時期及び主な議題（案）

回数	開催時期（予定）	主な議題（案）
第26回	令和4年1月28日 送付日	・実証運行計画（案）の検討 ・実証運行に向けたスケジュールの確認 等
第27回	令和4年3月	・実証運行計画の確認 ・協議が調っていることの証明書の確認 ・実証運行に向けた準備（広報、住民説明会）の確認 等
第28回	令和4年6月頃	・実証運行の検証の内容確認 ・今後のスケジュールの検討